



発行・編集 射水保護司会 会長 豊田 博保

〒939-0351 射水市戸破4200番地11
救急薬品市民交流プラザ2階 TEL 0766-95-5020

法務省主唱 第73回「社会を明るくする運動」 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

星野さん(射北中)、日本放送協会富山放送局長賞に

5月24日(水)、市内6中学校の代表者による中学生生活体験発表大会が、新湊中学校で開かれました。

この大会は県大会の予選を兼ね、射水市代表には射北中の星野 夏澄さんが選ばれました。

星野さんは7月1日(土)にタワー111(スカイホール)で行われた富山県中学生生活体験発表大会で、堂々と発表され、日本放送協会富山放送局長賞に輝きました。



●発表者(敬称略)

射北中学校	星野 夏澄
新湊南部中学校	原田 海音
小杉南中学校	高藤 美佑
小杉中学校	南條 仁哉
新湊中学校	三上 美菜
大門中学校	北 華音

第73回 「社会を明るくする運動」

射水市作品コンテスト

作品募集

射水市内の全小中学校に各保護司が依頼書を持参し、作品(作文・ポスター・標語)応募をお願いしています。

【テーマ】「社会を明るくする運動」の趣旨を踏まえ、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りに関して考えたこと、感じたことなどを題材としたもの。

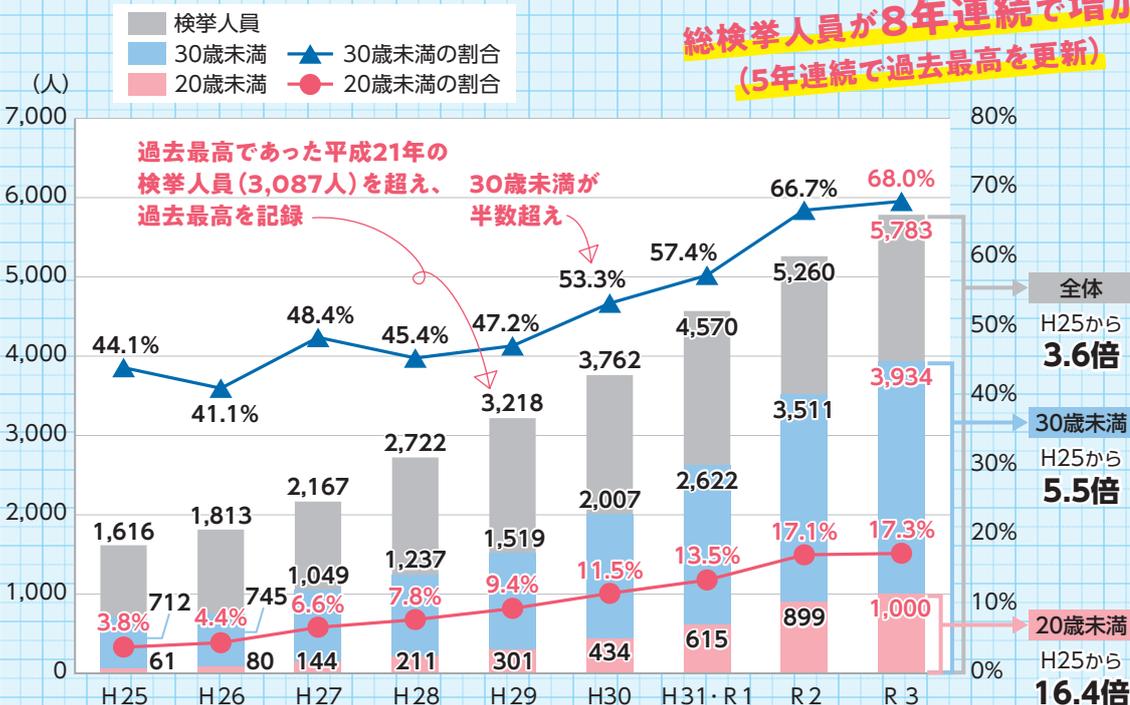
●11月18日(土)優秀作品の表彰式を行います。毎年優秀作品の作品集を発刊しています。

「ダメ。ゼッタイ。」
小学校で
「薬物の怖さ」伝える

若者の大麻所持・検挙のニュースが毎日のように伝えられています。大麻は薬物の「いりぐち」と言われています。本年度も、射水保護司会はライオンズクラブと共同して、市内小学校14校で薬物乱用防止教室を実施し、子ども達に正しい知識、薬物の怖さ、断る勇気を伝えています。



大麻事犯における検挙人員の推移(年齢別)



総検挙人員が8年連続で増加
(5年連続で過去最高を更新)

薬物乱用防止に関する政府広報オンラインはこちらのQRコードからご覧ください。



若者を中心に大麻所持の検挙者が急増していること、「なぜ大麻の使用がいけないのか」をイラスト入りでも分かりやすく説明しています。

一人になるのが嫌だった。
孤立するのが怖かった。
誰かといないと、不安に押しつぶされそうで。

仲間たちに誘われた時、断れなかった。
自分にとっては唯一で、大切なものだったから、
歪な繋がりにすがりついた。

この街に帰ってきて一年。
色んな人に囲まれて、いま、自分は働いている。

元気がないと気づいてくれる食堂のおばちゃん。
失敗を笑い飛ばしてくれる先輩。
仕事の楽しさも厳しさも教えてくれる社長。
自分が罪を犯しても、見捨てなかった幼馴染。

たくさんの顔が思い浮かぶ。
それにすごく、嬉しくなった。

一人でなんでもできるようになることだけが
自立じゃない。
困ったら、誰かを頼ったっていい。

きちんと一人、でも孤独じゃない。

#生きづらさを 生きていく。

第73回社会を明るくする運動 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや、
犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをすることもまた、とても大切なことです。

保護司は、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。

保護観察：犯罪・非行を行なった人を更生させるために、指導や助言を行う。

生活環境調整：少年院や刑務所に収容された人が釈放された際に、社会復帰のサポートを行う。

犯罪予防活動：犯罪・非行防止のために地域社会での理解を深める活動を行う。

法務省
保護司ひとくちメモ



更生保護サポートセンター射水 〒939-0351 射水市戸破4200番地11 救急薬品市民交流プラザ2階 TEL.0766-95-5020

FAX.0766-95-5021 E-mail: imizuhogoshikai@gmail.com / 月曜日～金曜日 午前9時30分～午後3時30分まで保護司が交代で常駐しています。



お問い合わせは
お近くの
保護観察所まで



法務省
保護局
公式ツイッター



法務省
YouTube
チャンネル



射水保護司会
ホームページ

「射水更生保護」は、
射水保護司会の広報誌です。
ホームページ
<http://hogosi.com>